



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 ナカバヤシ株式会社
 コード番号 7987 U R L <https://www.nakabayashi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中林 一良
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理統括本部長 (氏名) 長井 俊介 T E L 06-6943-5555
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 44,397	% △3.6	百万円 1,645	% 78.4	百万円 1,931	% 63.4	百万円 881	% 10.0
2025年3月期第3四半期	46,035	3.8	921	-	1,181	-	801	385.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 683百万円 (△16.4%) 2025年3月期第3四半期 817百万円 (339.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 32.18	円 銭 -
2025年3月期第3四半期	29.20	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 54,873	百万円 29,267	% 53.1
2025年3月期	56,584	29,377	50.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 29,118百万円 2025年3月期 28,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	円 銭
2025年3月期	円 銭 -	円 銭 10.00	円 銭 -	円 銭 12.00	円 銭 22.00	
2026年3月期	-	10.00	-			
2026年3月期(予想)				12.00	22.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 63,500	% 1.2	百万円 2,540	% 42.1	百万円 3,175	% 43.4	百万円 1,800	% △9.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 寧波仲林文化用品有限公司

(注) 連結子会社の寧波仲林文化用品有限公司は、2025年6月3日をもって清算結了したため、連結の範囲から除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	28,794,294株	2025年3月期	28,794,294株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	1,670,087株	2025年3月期	1,329,004株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	27,404,657株	2025年3月期 3Q	27,454,582株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の堅調な推移等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。また、訪日需要は総じて底堅く推移したものの、国・地域別の回復度合いにはばらつきが見られ、とりわけ中国を含む東アジアの動向は、通商・外交環境の変化等の影響を受けやすい状況にあります。一方で米国の通商政策の影響、ウクライナや中東などの地政学リスクの高まり、物流の混乱、資源価格および為替変動による影響等により、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く状況は、ライフスタイルや企業活動が大きく変化したことに対応する必要があり、当社グループのパーサス「It's for SMILE」の理念に基づき、人生100年時代に相応しい価値ある商品とサービスの創出で企業価値向上に努めています。

このような中、当社グループは第4次中期経営計画（2024年4月1日～2027年3月31日）「Go on 5ing」（ゴー・オン・ゴーイング）を2024年5月に策定しました。本計画では「収益力の強化」「成長力の推進」「株主価値の向上」の3つの基本方針のもと、DXの推進、消費潮流の変化を捉えた製品サービスの創出、経営資源の最適配分に取り組むことで計画の達成を目指しております。特にDX推進においては、各セグメントの既存事業にデジタルを融合させることで新たな受注につなげるなど、具体的なシナジー効果が現れ始めています。

当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は443億97百万円となりました。前年度に引き続き採算性や利益率を考慮した受注を図るとともに、経費削減に努めたことや価格改定効果も寄与し、営業利益は16億45百万円、経常利益は19億31百万円となりました。また、特別利益は投資有価証券売却益2億5百万円、寧波仲林文化用品有限公司の清算結了による為替換算調整勘定取崩益1億74百万円など合計で4億22百万円を計上し、特別損失は木質バイオマス発電に係る固定資産の減損損失12億29百万円など合計で12億33百万円を計上いたしました。

この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億81百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は下記の通りであります。

売上高	443億97百万円	(前年同四半期比 3.6%減)
営業利益	16億45百万円	(前年同四半期比 78.4%増)
経常利益	19億31百万円	(前年同四半期比 63.4%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	8億81百万円	(前年同四半期比 10.0%増)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①ビジネスプロセスソリューション事業

BPOサービスにおいては、入札競争の激化により受注金額の減少が見られましたが、それを補う大型の案件や安定的な新規案件の受託により、全体として増益を確保しました。また、採算性を重視した案件の選別およびシステム開発の内製化が奏功し、収益性の向上に寄与しました。

手帳や封筒、一般印刷物については、手帳の価格改定に加え、DXと連携したクリエイティブ性の高い高粗利商材の新規受注および環境対応包材の紙製重箱の受注が増加し、増益を確保しました。

シール・ラベル関連では、医療向けを中心としたラベルの販売の増加に加え、価格改定・内製化・生産性向上等により利益率が改善し、好調を維持しております。

図書館ソリューションでは、図書館運営受託の増加に加え、施設改修に伴う書架移動支援など専門性の高い案件の獲得が進み、売上・利益ともに増加し、堅調に推移しました。また、製本事業においては今後製本仕様の見直しを行い、効率化による生産コスト低減に取り組み、利益率の拡大を図ってまいります。

卒業アルバム関連においては、前年度に実施した製造部門統合の成果が現れ、原価率が改善しました。

この結果、当事業の売上高は217億66百万円（前年同四半期比5.9%減）、営業利益は5億20百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

②コンシューマーコミュニケーション事業

製品販売においては、防犯防災用品は特需の反動が落ち着いた一方、チャイルドシート等の大口OEM受注の拡大に加え、ECチャネルでの価格競争力を活かした販売により、堅調に推移しました。

ガジェット周辺用品では、価格改定・リニューアルにより、利益率が改善しました。

オフィス家具分野では、価格改定を行ったほか、大型テーマパークへの納入などもあったことから売上が拡大し、運送業者の構成を見直すことによる運送コストの削減の結果、利益も大幅に増加しました。また、広告費の最適化により、新規顧客の獲得・リピート率・客単価の向上に繋げる施策を実行し、効果が徐々に始めております。

EC関連は、サイト運営の効率化を通じて収益性が向上しました。ナカバヤシ製自社製品のEC展開も順調に成長しております。

ぬいぐるみビジネスにおいては、欧米テーマパーク向け商品が好調に推移し、従来の香港・中国に加えて欧米・東南アジア・中近東への販路拡大を推進しております。

この結果、当事業の売上高は215億71百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は12億7百万円（前年同四半期比81.6%増）となりました。

③エネルギー事業

木質バイオマス発電は、木質チップの在庫状況を踏まえた出力調整を行いつつ稼働しております。太陽光発電は順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は9億69百万円（前年同四半期比12.1%減）、営業利益は12百万円（前年同四半期比41.6%減）となりました。

④その他

野菜プラント事業およびにんにくファーム事業等であり、当事業の売上高は90百万円（前年同四半期比16.4%増）、営業利益は21百万円（前年同四半期営業損失9百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6億47百万円減少し、291億42百万円となりました。これは商品及び製品が11億72百万円、仕掛品が3億56百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が14億93百万円、受取手形及び売掛金が9億9百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて10億63百万円減少し、257億31百万円となりました。これは機械装置及び運搬具が6億55百万円、建物及び構築物が6億21百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて17億10百万円減少し、548億73百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8億91百万円減少し、149億38百万円となりました。これは短期借入金が6億92百万円、支払手形及び買掛金が4億40百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7億9百万円減少し、106億68百万円となりました。これは長期借入金が13億18百万円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて16億円減少し、256億6百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億10百万円減少し、292億67百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が3億98百万円増加しましたが、非支配株主持分が5億10百万円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は53.1%となり、前連結会計年度末に比べて2.3ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,739	6,245
受取手形及び売掛金	10,306	9,397
商品及び製品	6,625	7,798
仕掛品	993	1,349
原材料及び貯蔵品	1,853	1,894
その他	2,271	2,457
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	29,789	29,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,086	6,465
機械装置及び運搬具（純額）	4,098	3,442
土地	9,196	9,082
建設仮勘定	138	45
その他（純額）	198	190
有形固定資産合計	20,719	19,227
無形固定資産		
その他	249	215
無形固定資産合計	249	215
投資その他の資産		
投資有価証券	3,081	3,617
退職給付に係る資産	1,653	1,707
繰延税金資産	298	201
その他	800	770
貸倒引当金	△6	△8
投資その他の資産合計	5,826	6,288
固定資産合計	26,795	25,731
資産合計	56,584	54,873

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,299	3,859
短期借入金	5,308	4,616
未払金	2,672	2,684
未払費用	417	416
未払法人税等	400	207
賞与引当金	669	372
その他	2,060	2,780
流動負債合計	15,829	14,938
固定負債		
長期借入金	8,270	6,952
退職給付に係る負債	2,784	2,679
繰延税金負債	50	432
その他	272	604
固定負債合計	11,377	10,668
負債合計	27,206	25,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,944	8,944
利益剰余金	12,068	12,346
自己株式	△676	△865
株主資本合計	27,003	27,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,067	1,465
繰延ヘッジ損益	△44	65
為替換算調整勘定	219	39
退職給付に係る調整累計額	472	455
その他の包括利益累計額合計	1,714	2,026
非支配株主持分	659	149
純資産合計	29,377	29,267
負債純資産合計	56,584	54,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	46,035	44,397
売上原価	34,712	32,808
売上総利益	11,322	11,588
販売費及び一般管理費	10,401	9,943
営業利益	921	1,645
営業外収益		
受取賃貸料	122	105
受取配当金	92	97
受取保険金	82	74
その他	149	140
営業外収益合計	447	417
営業外費用		
支払利息	68	75
貸与資産諸費用	30	30
貸倒引当金繰入額	40	0
その他	48	25
営業外費用合計	187	131
経常利益	1,181	1,931
特別利益		
固定資産売却益	126	42
投資有価証券売却益	—	205
為替換算調整勘定取崩益	—	174
特別利益合計	126	422
特別損失		
固定資産処分損	2	4
減損損失	74	1,229
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	4	—
関係会社株式評価損	11	—
関係会社事業損失引当金繰入額	14	—
特別損失合計	107	1,233
税金等調整前四半期純利益	1,200	1,119
法人税、住民税及び事業税	388	421
法人税等調整額	11	325
法人税等合計	400	747
四半期純利益	799	371
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△509
親会社株主に帰属する四半期純利益	801	881

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	799	371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	398
繰延ヘッジ損益	18	109
為替換算調整勘定	19	△180
退職給付に係る調整額	△38	△16
その他の包括利益合計	18	311
四半期包括利益	817	683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	819	1,193
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△510

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネス プロセス ソリューション 事業	コンシューマー コミュニケーション事業	エネルギー事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	23,131	21,723	1,102	45,957	77	46,035	—	46,035
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,424	296	—	1,721	9	1,731	△1,731	—
計	24,556	22,020	1,102	47,679	87	47,766	△1,731	46,035
セグメント利益 又は損失(△)	485	664	21	1,172	△9	1,163	△241	921

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、野菜プラント事業及びにんにくファーム事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△241百万円には、セグメント間取引消去87百万円、棚卸資産の調整額3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△332百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ビジネス プロセス ソリューション 事業	コンシューマー コミュニケーション事業	エネルギー 事業	計			
減損損失	—	74	—	74	—	—	74

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネス プロセス ソリューション 事業	コンシューマー コミュニケーション事業	エネルギー事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	21,766	21,571	969	44,307	90	44,397	—	44,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,247	400	—	1,647	9	1,656	△1,656	—
計	23,013	21,971	969	45,954	99	46,053	△1,656	44,397
セグメント利益 又は損失(△)	520	1,207	12	1,740	21	1,761	△116	1,645

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、野菜プラント事業及びにんにくファーム事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△116百万円には、セグメント間取引消去113百万円、棚卸資産の調整額△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△229百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	ビジネス プロセス ソリューション 事業	コンシューマー コミュニケーション 事業	エネルギー 事業	計			
減損損失	—	—	1,229	1,229	—	—	1,229

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,189百万円	1,133百万円
のれんの償却額	13百万円	一百万円